

軍事基地のないコミュニティに向けて  
岩国の人々のたたかいと共に前進しよう！  
日本にある基地の閉鎖を！

BAYAN/MIGRANTE 日本支部

BAYAN/MIGRANTE 日本支部は、アジア太平洋地域における軍事施設とパワーバランスをめぐる米国の支配強化のための全体的な策動の一環として継続する岩国の軍事基地の拡大・強化に対して断固としてたたかう岩国の人々に熱い連帯のあいさつを送ります。

BAYAN/MIGRANTE 日本支部は、安全保障と国家主権を掘り崩す米国の帝国主義的介入を拒否するという日本の民衆の意思に露骨に挑戦する反動政権に反対し、抵抗している日本の民衆と一体です。

岩国民衆のたたかいは正当なものです。2017年に予定される神奈川県の米軍厚木基地からの59機の艦載機の移転、愛宕山での大規模な米軍住宅建設、MV-22 オスプレイの全国飛行訓練のための展開拠点としての利用、2017年までのF35戦闘機の配備計画——これらは岩国の人々のみならず、日本の全民衆の主権を侵害するものです。

皆さんのたたかいは、日本の民衆の真の利益を表すものです。もしこれらの計画が完成すれば、岩国基地は120機の戦闘機と一万人以上の米軍人その家族を抱える東北アジア最大の米軍基地になってしまいます。それは岩国の人々に大きな政治的・社会的なインパクトを与えるものであり、日本はこれらすべてを維持するための重い負担に耐えねばなりません。

明らかなことですが、米国の「再均衡」戦略、あるいは「米国のアジア太平洋回帰」における岩国基地の重要性は、バラク・オバマ大統領が今年5月の広島訪問の前にこの基地を訪れ、米日軍事同盟の重要性を強調したことにも反映されています。

騒音や米兵による事件・犯罪だけでなく、岩国基地は——岩国の人々が強く抵抗しているところの——米国の帝国主義的支配を象徴するものです。自由を愛する民衆として、私たちは岩国の人々の側に立ち、日本およびアジア太平洋地域を支配するための帝国主義的策動の一部であるこの策動を拒絶します。

この精神においてこそ、私たちは民衆の主権を尊重させるために、岩国、日本、そして全世界の米軍基地の撤去を呼びかけているのです。

私たち民衆は過去の帝国主義戦争から最悪の被害を受けてきました。私たちは歴史が繰り返されるのをただ黙って見ていることはできません。日本が新安保法制を通して再び軍事態勢の強化に向かっていることについて、私たちは日本および世界の平和を愛する民衆の意思を無視する日本の反動的な支配エリートたちを弾劾します。

私たち民衆に危険と苦難をもたらしている米日軍事同盟を拒絶し、歴史の教訓を踏みにじろうとする動きに抵抗するために、民衆が最大限に団結し、自らを組織するべき時がやってきました。

米軍基地は日本とアジア太平洋から出て行け！  
岩国米軍基地強化を止めよう！  
愛宕山米軍住宅建設を止めよう！  
米日軍事同盟に抵抗しよう！  
国際連帯万歳！

2016年8月21日